

中学生が内航海運や船員の仕事について学びました

～長崎県壱岐市の中学生向け内航海運講座を開催～

福岡地区船員対策連絡協議会（※）は、10月16日、長崎県壱岐市立石田中学校（3年生46名 男子22名女子24名）を対象に、内航海運業や船員の仕事への理解と船員を将来の就職先の選択肢に加えてもらうことを目的とした出前講座を開催。

※福岡地区船員対策連絡協議会：博多地区海運組合、壱岐地区海運組合、壱岐汽船海運組合及び九州運輸局で構成

・同協議会では、著しく高齢化がすすむ内航船員の確保・育成対策として、水産系高校、海上技術学校等での出前講座や一般高校、中学校への学校訪問による海運業のPR及び内航海運事業者や船員教育機関関係者との船員確保・育成対策の協議などの事業を展開しています。

・長崎県壱岐市は離島であり、多数の内航海運事業者が存在しており、内航海運業が地域の基幹産業のひとつであることから、平成29年度より、これから将来の進路を考える中学生を対象に、内航海運業の重要性や船員としての職業の魅力を伝える講座を実施しています。

・同講座では、九州運輸局の職員を講師として派遣し、「内航海運」の大切さ及び「船員」の仕事内容や船内生活、必要となる資格等を講話するとともに、地元の壱岐地区海運組合の職員から内航海運事業者の現場の話を伝えることで、地元産業の重要な役割を認識してもらうようPRに努めました。

・さらに、海技教育機構が作成した海上技術学校を紹介したDVDの上映を行い、実際の学校生活や卒業後の船員としての仕事ぶりなども見てもらい、生徒の船員への興味を深められたと思っております。

・参加した生徒へのアンケートでは、「内航海運が私たちの暮らしに重要なことがわかった。」「船が地球環境にやさしいと初めて知った。」「女性の船員もいると聞き驚いた。」等、内航海運業への理解と関心が高まったとの感想が数多く寄せられました。



【船員の仕事のメリットについて（九州運輸局）】



【壱岐で活躍する内航船紹介（壱岐地区海運組合）】